

◆◆ミシガン州友好使節団◆◆

10月18日(金)

ヒアサ淡海にて滋賀県主催ホストファミリーとの対面式。

高島市のホストファミリーの山川夫妻とミシガン州友好使節団のキャサリンさん、タイラーさんと対面。

高島市国際協会副会長松本和寿さんが通訳として同行。

高島市へ来訪、昼食(TSC かばた館)後、高島市長表敬訪問。高島市国際協会理事で昨年度ミシガン州へ友好使節団として訪問した石田順司さんも参加。

市役所前へ到着の折には市職員の歓迎を受けた。



10月19日(土)



午前中、今津東コミセンで開催されていた「たかしま市民活動フェスタ」を見学。

高島市国際協会も「マレーシア DAY」と称し高島市在住のマレーシア人スルアズハさんとノルアインさんを招いていたのでキャサリンさんと会話も弾んだ。

昼食(西庵)後、山川さんの案内で針江地区「かばた」見学。

10月20日(日)



キャサリンさんとタイラーさんに本格日本料理を味わってもらうのを目的として、元ホテルの日本料理長の岡村敦夫さんを招き、日本料理会を催す。

食事の前に岡村さんの調理の様子を見学。秋らしくもみじをかたどった人参や、葉っぱの形に切り込みを入れたかぼちゃを見て、驚きの表情を見せていた。

岡村さんからは、日本料理は季節に応じた旬の食材を春は春らしい盛り付け、秋は秋らしい彩り、素材の味を大切にした味付け、バランスの取れた食材の組み合わせ、等々の話を聞き日本料理の奥深さを感じ取った様子だった。

この食事会には高島市国際協会の会員を中心に14名が参加した。当協会、英語サロンの方々も参加し英会話も滑らかに楽しい雰囲気にも包まれた。

テーブルに和紙で折った鶴や花を飾り日本らしい装いにした。キャサリンさんはそれらをととても気に入り、箱に入れてお土産にした。



日本料理食事会終了後、柿渋染の体験のために山本玄匠工房へ。

山本玄匠さんの作品が世界のファッション界で話題となっているとの話を聞き、染め上げられた生地やバッグ、ドレス、スカーフなどを見てまわった。

そのあと、山本玄匠さんが染め方を指導してください、白いTシャツを好きな色に染める作業に取り掛かった。

キャサリンさんもタイラーさんもとても興味を持って取り組み、特にタイラーさんは大胆な色使いで、最後の最後まで、終わるのを名残惜しそうにしていた。

染め上がったTシャツの受け渡しは洗い・乾燥と時間がかかるため2日後のウエストレイクホテルにおける交流会時に。

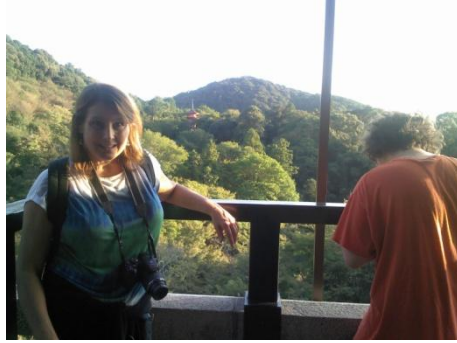
2日後の交流会の時は山本玄匠さんが2人にTシャツを手渡し、2人ともそれを着てみて、とても感激し、会場は大いに盛り上がることとなった。

10月21日(月)

今年は県の計画に京都観光が組まれていなかったため、京都観光を入れた。

京都観光はホストファミリーとは離れて、岡野史子さんと白川三枝さんが通訳として同行。





湖西線を利用して京都へ行き、まず毎月 21 日弘法さんの骨董市の開かれている東寺へ。日本らしい骨董、陶器を見て歩き、屋台で昼食。日本の風情を満喫した。

京阪バス(京の早まわり～世界遺産 金閣寺・清水寺～)京都烏丸口 13:30 出発。約 3 時間のコース。この京阪バスは英語イヤホンガイド付きを予約。

清水寺近くで夕食を済ませ、京都駅へは市バスで。市バスに乗ったときは乗客の多さに驚き「ミシガンの人全員が乗ってるみたいだ」と言っていた。2 人の通訳さんとも打ち解け、予定していた湖西線より遅い時間まで京都を楽しんで帰宅の途についた。

10 月 22 日(火)

午前 9 時～10 時半まで、福祉施設のやすらぎ荘の訪問。この訪問はキャサリンさんが福祉関係の仕事に就いており福祉施設の見学を要望していたため計画。

案内は高島市社会福祉協議会の八坂麻美さんに依頼。デイサービスの様子を興味深く見学し、市内の施設の数や通っている人数について八坂さんに質問。日本の介護保険制度については細かいところまで尋ねていた。

やすらぎ荘から彦根 JCMU へ。JCMU の講座で学ぶ理事石田順司さんが同行。石田さんが事前にその講座にミシガン使節を連れて行く旨を告げていたため、暖かい歓迎を受けキャサリンさんもその場で挨拶をして同郷の方たちと心和むときを過ごすことが出来た。



午後 6 時より
ウエストレイクホテル可登楼において「ミシガン州友好使節パーティー」開催。出席者 30 名。

今回は立食にはせず、円テーブルにそれぞれの席に着いて 大皿を取り合う形にした。市職員、高島市国際協会会員のほか、市内のミシガン州出身 ALT マルシさんも出席し、キャサリンさんとタイラーさんを歓迎した。



高島市を違った角度から知ってもらうために、4人の出席者がスピーチをした。

原田さん…毎年高島市で催されている「風と土の工芸」について。

蔵崎さん…平安の装束を付けて、万葉集の中から安曇川を詠んでいる歌を英語で解説。

坂下さん…高島市へ移住して営んでいる循環型農業について。

ミアムさん…小学校のALTとしてマキノに住み、マキノの自然の魅力、地域の人との交流について



さらに飛び入りで

ホストファミリーの山川さんが世界湖沼会議で発表した「かばた」について大いに語った。

キャサリンさんとタイラーさんは最初の緊張した面持ちも解け、リラックスした様子だった。



「小さなAMI」のみなさんのきれいなハーモニーの歌。日本の懐かしい童謡唱歌やホピュラーなアメリカの歌は心に沁みるものだった。キャサリンさんもアメリカの歌を聞いたときは思わず頬が緩んだ。



記念品贈呈。

高島市国際協会から花瓶。この花瓶は、陶芸家で京都観光も同行した岡野史子さんがこの日のために作陶した。



山本玄匠さんから2日前に染めたTシャツを贈呈した。この仕上がりの良さにキャサリンさんもタイラーさんも大喜びで、その姿を見た山本玄匠さんは嬉し泣きしていた。



高島市へ来訪の日以来パーティーの日まで、高島市国際協会ではキャサリンさんとタイラーさんに少しでも日本の良さを知ってもらえるように、又日本人が暖かく迎える気持ちを分かってもらって、和やかな友好交流ができるようにと計画を立てた。

パーティーの終盤、ホストファミリー夫妻がとても充実した表情を見せていたのと、キャサリンさんとタイラーさんも感謝の気持ちを表していたので、その姿を見て安心した。

